

平成29年度第1回三重県医療審議会健やか親子推進部会で出された主な意見

1 要 旨

3月16日（金）に平成29年度第1回三重県医療審議会健やか親子推進部会を開催し、「健やか親子いきいきプランみえ（第2次）」の進捗状況、「三重県保健医療計画（第5次改定）」の進捗状況及び「第7次三重県医療計画」の母子保健部分の最終案について報告しました。

2 部会での報告内容

委員から出された意見は次のとおりです

- ・伊勢市は平成28年度から産前産後ケアを開始し、相談窓口を市内の保健センターに一ヶ所作った。平成28年度は年度途中から400件ほどの延べ利用者、平成29年度は現在1200件ほどの延べ利用者となっている。一ヶ所では足りないため、各地域に広げていけるかどうかが課題となっている。また、産婦健康診査事業を開始し、一ヶ月健診も開始する予定である。三重県からの助成も期待したい。
- ・予期せぬ妊娠の相談は確実に増えている。特に若年層の相談も増えている。若年層にとって、医療機関へ行くことはハードルが高く、相談窓口は意義がある。引き続き周知の方法などを工夫しながらやっていく必要がある。
- ・乳幼児の不慮の事故死亡率は以前大きく増えてしまったことがあり、高い傾向にある。引き続き、保護者への指導を進めてもらいたい。
- ・乳幼児健診の未受診者のフォローについて、全市町の実施には至っていない。費用負担や人員などの原因があると思うが、実施に向けて取り組んでももらいたい。
- ・乳幼児健診の後のフォローについて、保健師や母親への負担になると思うので、フォローが必要でなくなるように、という取組も進めてもらいたい。
- ・妊娠期からの児童虐待防止対策については、妊婦の口腔の状態を確認できるようにするとよい。妊婦の歯科検診を実施するのは10市町程度であるので、拡大させてほしい。また、健診に来ない人をフォローする方向で考えると、特定妊婦につながっていく。問題を抱えている妊婦はまず健診に来ないので、そういった視点を持ってもらいたい。

3 今後の対応方針

いただいた意見は、「健やか親子いきいきプランみえ（第2次）」の今後の取組において活用していきます。